

# 伊賀の自然

第5回

## 『マルガタゲンゴロウ』

武田恵世



マルガタゲンゴロウ

マルガタゲンゴロウ  
いよいよ真夏、水遊びのシーズンです。ゲンゴロウの仲間は丸っこくて「いっだって大あわて」という感じでチヨコチヨコ泳ぐので人気があります。しかし、危険を感じると臭いにおいを放つので室内で飼うのはあまりおすすめてできません。このマルガタゲンゴロウは体長12〜14・5ミリで、金色に輝くのにやら目出度そうなゲンゴロウです。全国的に減少が著しく、神奈川県では絶滅、三重県でも伊賀地方以外ではほとんど見つからなくなっています。水生昆虫



マルガタゲンゴロウの生息地

ですが、泳ぎはあまり速くなく、深いところは苦手のようで、水深数センチ程度の浅い水辺にいます。ジツとしてみると浮き上がってしまうので、泳ぐよりはもっぱら水草につかまって水に潜っています。また水面の表面張力も脅威らしく、水面から出るのに水草につかまってドッコイショという感じで苦労しています。ですから水草が多くないと生活して行くのが難しいようです。また、餌になる小魚や水生動物が豊富でないといけません。こうした浅い水辺が減少したのが、激減した理由のようです。浅い水草の多い水辺は大きな魚は入りにくく、シラサギなどの野鳥も獲物を見つけにくいので、小魚や小さな生物にとっては安全なゆりかごなのです。こうした場所を守るだけで、ずいぶん生態系は豊かになります。私達は、石垣や砂地の草1本ない水辺を好みがちですが、こうした水辺も見直してみましよう。

### 伊賀の山並み

上野市街地から見える東の南宮山と荒木山の間の切れ目、中瀬峡から見えるこの山は霊山です。古くから日本には、死ぬと魂は山に帰るといふ思想があったようです。また田の神様も稲作がはじまる



霊山



霊山 (近くから撮影)

と山からやってきて、終わると山にお帰りになるとされていきます。毎年正月にいいになる正月様という神様も山から来るとされています。青森県の恐山、木曾の御嶽山、伊勢市の朝熊山、奥山権現などもそうした神聖な山なのです。神霊やご先祖様は祠の中ではなく、山にいらっしやると考えられていたのです。「ご先祖様と神様がみんな霊山にいたら超満員、正月様は家の数だけ、田の神様は田の数だけいるからすごい数」などという野暮なことは考えないことにしましょう。古来、山は神聖な場所だったので。しかし、神聖さが保たれた山は、すっかり少なくなっていました。

### 武田恵世

歯科医師、歯学博士伊賀市上野桑町で開業。伊賀市環境保全市民会議 レッドデータブック作成委員会委員長。環境省希少野生動物種保存推進員。日本鳥学会、日本生態学会会員他。著書に「風力発電の不都合な真実」(アットワークス刊)などがある。